

コハコベ



コハコベ

ナデシコ科ハコベ属

コハコベは帰化種で、在来種はミドリハコベです。花弁は5枚ですが、深裂しているのので10枚に見えます。ミドリハコベの雌しべの花柱は3個で、雄しべは5-10個です。コハコベはミドリハコベと似ていますが、より小型で茎が暗赤色、花柱3、雄しべは1-7個です。現在は帰化種のコハコベの方が多く見られます。

ウシハコベ



ウシハコベ

ナデシコ科ハコベ属

ハコベに比べて全体に大きいものを牛にたとえたのが名前の由来となっています。花はコハコベに似ていますが、花柱が5個なので区別できます。

5月に見られる花

今年は4月の気温が高かったせいか、キンラン、ギンランなども例年より2週間ほど早く咲き終わってしまいました。他はホウチャクソウ・ヘビイチゴ・イチヤクソウ・サイハイラン・ミヤマナルコユリ・ミズキ・クマノミズキ・イヌザクラなど

